

【高千穂町立田原小学校】

1 活動の概要

- 「田原地区 ペットボトルリサイクル」プロジェクト
- 「田原地区」クリーン大作戦

2 SDGs の視点

「11 住み続けられるまちづくりを」「15 自然の豊かさを守ろう」

事業の実施時期： 補助を受けた日から令和 7 年 2 月 28 日

1 学校の概要

本校は、次年度創立 150 周年を迎える伝統のある学校である。2015 年(平成 27 年)高千穂郷・椎葉山は FAO(世界食料農業機関)により世界農業遺産(GIAHS)に認定されている。本校も世界農業遺産の中にあり、豊かな自然環境に恵まれ、山腹用水路を中心とした、稲作も盛んに行われている。

これまで、田植えから収穫までの年間を通した稲作体験や、地域の老人クラブの方との花いっぱい活動、学校のプールを活用した魚つかみ、地域の河川の水質調査等の取組が行われてきた。

2 活動のねらい

「ずっと住み続けられる魅力いっぱいの田原地区街づくり」を目指して、SDGs の視点から、循環型社会を実現する環境教育を行う。

特に、4R の中の「リサイクル」に焦点化し自分たちの手でリサイクルを行うことによって、身近な環境から街をよりよいものにしていこうとする意識を高める。

3 活動内容

(1)「田原地区 ペットボトルリサイクル」プロジェクト

【SDGs 11 住み続けられるまちづくりを】

○ プロジェクト 1「家庭ペットボトル調査」

① 5・6 年生の総合的な学習の時間で、11 月の第 2 週を「ペットボトル調査週間」とし、各家庭で飲まれたペットボトルの回収率を調査した。

② 5・6 年生 14 人全員の各家庭での回収率のデータを取り、表やグラフを用いて検証する。また、学習発表会で、SDGs の取組について保護者や地域の方に発表した。



【学習発表会 SDGs の取組実践発表】

○ プロジェクト2「田原ペットボトル「学び」大作戦」

- ① 11月1日(金)朝の活動(8:20~8:35)で、各学級で「ペットボトルリサイクル」についての動画を視聴し、ペットボトルの循環の仕組みについて理解した。



【ペットボトル 循環の仕組み動画視聴】

- ② 5・6年生の総合的な学習の時間で、日本のペットボトル回収率(86%)と欧州(43%)・米国(20%)を比較し、なぜ日本のペットボトル回収率が高いのかを考えさせた。また、「家庭ペットボトル調査」のデータから、自分の家庭の回収率を上げるための方法を考え、実践した。

○ プロジェクト3「田原ペットボトル「お知らせ」大作戦」

- ① 5・6年児童が、プロジェクト1とプロジェクト2で学んだことを、「田原小ペットボトルリサイクルプロジェクト」として、各公民館に掲示用のポスター10枚(10公民館)を作成した。

- ② ペットボトルリサイクルについての書籍を購入し、図書室に特設コーナーとして展示した。



【図書室 SDGs コーナー】

(2) 「田原地区」 クリーン大作戦

【SDGs 15 自然の豊かさを守ろう】

【SDGs 11 住み続けられるまちづくりを】

全校児童と田原地区住民との合同のクリーン活動を行った。コミュニティ・スクールとも関連させ、学校・家庭・地域が一体となり、自分の地区の環境について考える「ワクワク地区別活動」の一環として、実践を行った。



【ワクワク地区別活動 クリーン活動】

拾ったゴミについては、生活科や社会科、総合的な学習の時間と関連付けて分別を行い、全校で環境教育を実施していった。



【 収集後のゴミ分別 】

(3)環境教育 広報活動

学校だより、学校HP、学級通信等を通じて本校の取組の発信を随時行っていた。また、児童が主体となり、ポスターを作成し、各地区の公民館に掲示する活動を展開した。



【学校だより クリーン活動広報】



【学校ホームページ クリーン活動広報】



【公民館広報 ポスター作り】

4 成果と課題

- ペットボトルリサイクルに取り組んだことで、限りある資源を循環することの仕組みに気付かせることができた
- 自分たちの街のゴミを分別することで、自然の大切さやまちの美しさの大切さに気付かせ、環境に対する意識を高めさせた。
- 広報活動を展開していくことで、保護者や地域の方に環境に対する啓発を行い、学校を拠点とした環境教育の発信につなげることができた。

環境に関する活動は、一人ではなく全員で
することが大事だと思った。前まではペッ
ボトルのリサイクルについて深く考えてい
なかったけど、この学習を通して分別やリ
サイクルが大切だと分かった。
環境は一度変わると戻るまでに時間がかか
るから、今のうちの行動を大切にしようと
思った。

【児童感想より】

- ワクワク地区別活動を、学校運営協議会と連携してよりたくさんの方に広報し、地域の協力のもと、自分の地区の環境について更に深く学べる機会を作っていきたい。
- 高千穂町小中学校が取り組んでいる「E S D」カレンダーの実践を、総合的な学習の時間の年間指導計画と関連させて行っていきたい。

学校名：高千穂町立田原小学校
住 所：西臼杵郡高千穂町大字河内 36 番地
電話番号：0982-75-1031
E-mail：1805ec@miyazaki-c.ed.jp